

DISCLOSURE

現況報告

平成26年度（第66期）上期

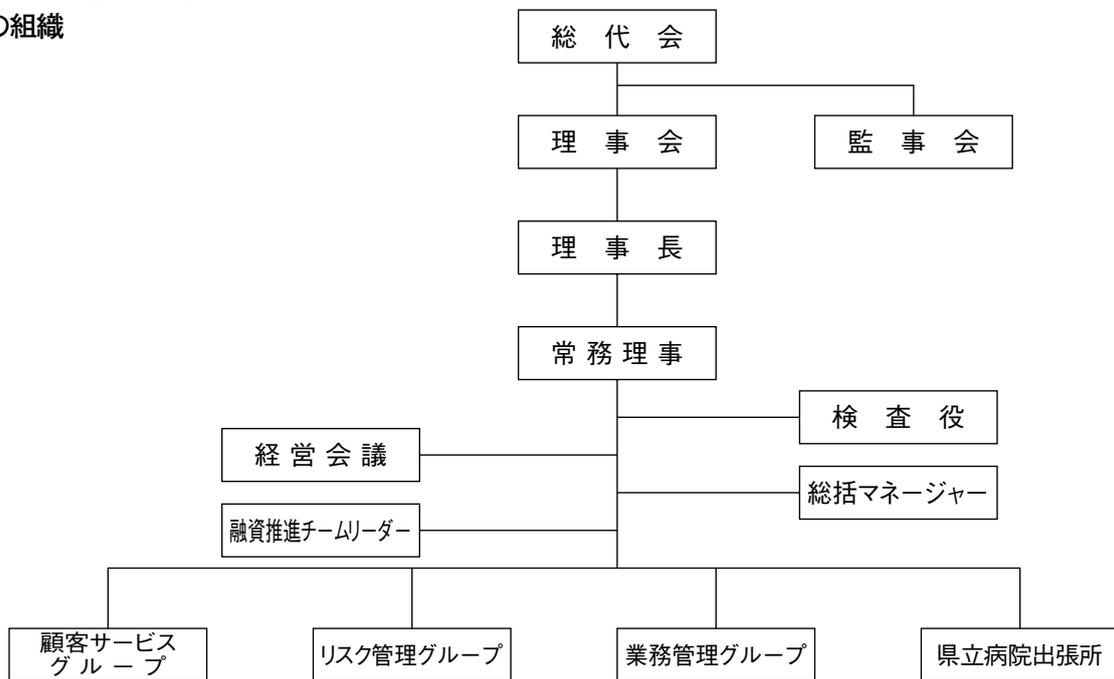


福泉信用組合

目 次

I 「ふくせん」の概況		VI 自己資本の充実の状況	8
事業の組織	1	VII 組合員および諸比率	
役員一覧	1	組合員・出資金の状況	9
上期決算概況	2	総資産利益率	9
II 主要勘定		預貸率および預証率	9
貸借対照表	4	総資金利鞘等	9
損益計算書	5	業務純益	9
III 主要な経営指標の推移	6	VIII 金融再生法開示債権の開示	9
IV 資金の運用勘定・調達勘定の状況	6	IX 「ふくせん」のガバナンス	10
V 保有有価証券の状況	7	X 「ふくせん」の苦情処理・紛争解決措置等の概要	12

I 「ふくせん」の概況 事業の組織



役員一覧

理事長	伊藤 敏幸	常務理事	道林 卓恵	理事	江端 美喜子
理事	高島 淳一	理事	白崎 雅義	理事	向出 宏二
理事	坂下 直樹	理事	土橋 彰	理事	姉崎 孝三
理事	吉田 勉	理事	穴吹 憲男	理事	斉藤 秀男
理事	岩尾 洋一郎	代表監事	江川 権一	監事	小野田 謙一
監事	吉田 智広	監事	杉田 光治	監事	松枝 範恭

上期決算概況

➤ 預金等

(単位：百万円)

項目	H25年9月末残	H26年9月末残	増減額	増減率(%)
個人預金	69,047	70,236	1,189	1.72
法人預金	7,328	6,716	▲612	▲8.35
一般法人預金	4,906	4,295	▲611	▲12.46
公金預金	2,422	2,421	▲0	▲0.04
金融機関預金	-	-	-	-
預金計	76,375	76,952	577	0.76
要求払	6,230	6,249	19	0.31
(うち決済用預金:別段含む)	231	195	▲36	15.65
定期性	70,145	70,702	557	0.79
員外預金比率(%)	3.69	3.34	▲0.35	▲9.49

【増減要因】

個人預金は、退職金預入時に特別金利(退職年度のみ：1年定期0.70%)によるサービスを実施したことや、ボーナス時期のキャンペーン金利によるサービス、そしてボーナス時期以外の懸賞金付定期預金の発売等の効果により新規のお取引に結びついています。

一方、法人預金は、引続き脱公金・法人預金化に取り組んでいることから約6億円減少となりました。

➤ 貸出金

(単位：百万円)

項目	H25年9月末残	H26年9月末残	増減額	増減率(%)
事業資金	679	300	▲379	▲55.85
地方公共団体	2,629	2,854	225	8.57
個人(含、当貸)	14,528	15,295	766	5.27
貸出金計(〃)	17,837	18,449	612	3.43

【増減要因】

事業資金は、大口融資先より融資の完済があり大幅に減少しています。また、福井県に対しては、昨年度末に3億円と今年度に1億円の融資を行いました。既存融資の返済分により約225百万円の増加となりました。

個人向け融資は、融資推進チームによる取組みが教職員を中心に浸透してきたことや、4月からの消費税増税に対して1月より発売した固定金利型のマイカーローンが好調であったこと、また、住宅ローンの申込みが増加したことにより貸出残高が増加しました。また、以前より行っている当組合負担による団信の100%付保や各種の手数料および保証料が不要であるなどの有利性も寄与していると思われます。貸出金総額に占める住宅ローン残高は73.01%(134億円)と前年同期に比べ1.61%上昇しています。預貸率は23.97%と前年同期比で0.62%増加しています。

なお、金融円滑化法期限到来後における貸付条件の変更等の相談業務を引き続いて行っていますが、上期において対象となる事案は発生していません。

➤ 有価証券

(単位：百万円)

項目	H25年9月末残	H26年9月末残	増減額	増減率(%)
有価証券残高(税効果後)	41,124	39,006	▲2,117	▲5.15

(保有目的区分別の状況)

(単位：百万円)

	銘柄数	額面金額	取得(償却)原価	時価	評価差益又は差損
満期保有目的	-	-	-	-	-
その他目的	289	38,211	38,301	39,006	705

【増減要因】

余資金の運用は、市場金利の低下に伴う収益の減少を補うために期間の長い事業債を銘柄選別のうえ購入しましたが、約21億円の減少となりました。

福井県債を額面で約27億円保有しております。

市場金利の低下に伴い保有債券の評価損益は約7億円の含み益となっています。

有価証券利回りは1.10%となり前年同期に比べ0.14%低下しています。また、保有債券の平均残存年数は3.79年となり、0.41年の長期化となりました。

なお、ロスカットルールに基づく強制売却や特別償却の対象債券は発生していません。

➤ 預け金

(単位：百万円)

項 目	H25年9月末残	H26年9月末残	増減額	増減率(%)
その他預け金	3,136	2,723	▲412	▲13.3
定期性預け金	20,993	23,693	2,700	12.86
合 計	24,129	26,416	2,287	9.48

【増減要因】

市場金利の低下による運用難から運用債券の償還資金を普通預金で保有したため、その他預け金(全信組連・福井銀行等の普通預金等)は、27億円の残高となっています。また、将来の金利上昇時の金利ショック軽減化のために運用資金の満期平準化に努めたことから、定期性預け金が27億円増加しました。預け金利回りは0.41%となり、前年同期比で0.09%低下しています。定期性預け金の平均預入年限は2.30年となり、前年同期に比べ0.57年の短期化となりました。

➤ 収益・損失

【増減要因】

・業務収益について

預け金利息は、全信組連定期預金の金利低下に伴い52百万円となり、前年同期に比べ約3百万円、率にして6.46%の減少となりました。

貸出金利息は、住宅ローン金利の引下げにより134百万円となり、前年同期に比べ約5百万円、率にして3.87%の減少となりました。

有価証券利息配当金は、市場金利の低下から運用利回りが低下し、210百万円となり、前年同期に比べ約43百万円、率にして17.00%の減少となりました。

役務取引等収益は、約1百万円となり、昨年並みの収益を計上しています。

以上のことから、業務収益は402百万円となり、前年同期に比べ約52百万円、率にして11.46%の減少となりました。

・業務費用について

預金利息は、店頭金利の低下に伴う支払額の減少により75百万円となり、前年同期に比べ約8百万円、率にして10.62%の減少となりました。このことから、預金利回りは0.19%となり、前年同期に比べ0.03%低下しています。

役務取引等費用は、他行ATM利用時の顧客手数料負担分約3百万円と団信保険料の負担分約17百万円等により約24百万円となり、昨年並みの費用を計上しています。

経費は、188百万円となり、前年同期に比べ約1百万円、率にして0.75%の増加となりました。

以上のことから、業務費用は288百万円となり、前年同期に比べ約5百万円、率にして1.99%の減少となりました。

➤ 臨時損益・特別損益

・臨時損益について

発生していません。

・特別損益について

発生していません。

➤ 当期純利益

市場金利の低下に伴う運用利回りの低下による業務収益の減少と資金調達費用の減少に伴う業務費用の減少があり、税引き前当期純利益は113百万円となり、前年同期に比べ約46百万円の減少となりました。

未払法人税28百万円、税効果会計による法人税等調整額3百万円を計上し、税引き後当期純利益は82百万円となり、前年同期に比べ約31百万円、率にして27.44%の減少となりました。

II 主要勘定（平成26年9月30日現在）

貸借対照表

（単位：千円）

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	124,662	預 金 積 金	76,952,978
預 け 金	26,416,813	当 座 預 金	-
（うち全信組連預け金）	25,802,119	普 通 預 金	6,245,909
全 信 組 連 短 期 資 金	-	貯 蓄 預 金	-
買 入 金 銭 債 権	-	通 知 預 金	-
金 銭 の 信 託	-	定 期 預 金	70,486,870
有 価 証 券	39,006,349	定 期 積 金	216,110
国 債	0	そ の 他 の 預 金	4,087
地 方 債	3,717,919	譲 渡 性 預 金	-
短 期 社 債	-	借 用 金	-
社 債	34,381,560	そ の 他 負 債	169,484
株 式	610	未 決 済 為 替 借	6,370
そ の 他 の 証 券	906,260	未 払 費 用	133,687
		給 付 補 て ん 備 金	219
貸 出 金	18,449,701	未 払 法 人 税 等	27,371
（うち金融機関貸付金）	300,000	未 払 諸 税	1,382
手 形 貸 付	-	未 払 配 当 金	12
証 書 貸 付	18,214,003	払 戻 未 済 金	5
当 座 貸 越	235,698	払 戻 未 済 持 分	-
		リ ー ス 債 務	311
		仮 受 金	122
そ の 他 資 産	326,475	そ の 他 の 負 債	-
未 決 済 為 替 貸	2,206	賞 与 引 当 金	12,170
全 信 組 連 出 資 金	101,100	退 職 給 付 引 当 金	94,998
未 収 収 益	219,277	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	2,905
仮 払 金	543	特 別 法 上 の 引 当 金	-
そ の 他 の 資 産	3,347	繰 延 税 金 負 債	155,779
有 形 固 定 資 産	13,552	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	-
リ ー ス 資 産	330	債 務 保 証	-
その他の有形固定資産	13,222	負 債 計	77,388,316
無 形 固 定 資 産	48,003	純 資 産	6,833,023
ソ フ ト ウ ェ ア	47,647	出 資 金	70,936
その他の無形固定資産	356	普 通 出 資 金	70,936
繰 延 税 金 資 産	-	資 本 剰 余 金	-
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 資 産	-	利 益 剰 余 金	6,251,441
債 務 保 証 見 返	-	利 益 準 備 金	60,000
貸 倒 引 当 金	▲ 81,744	特 別 積 立 金	5,980,000
（うち個別貸倒引当金）	▲ 20,018	（うち目的積立金）	-
		当 期 未 処 分 剰 余 金	293,915
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	510,646
合 計	84,303,814	合 計	84,303,814

損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	403,096
業 務 収 益	402,748
資 金 運 用 収 益	401,549
貸 出 金 利 息	134,421
(うち金融機関貸付金利息)	3,240
預 け 金 利 息	52,663
全信組連短期資金利息	-
有価証券利息配当金	210,419
その他の受入利息	4,044
役 務 取 引 等 収 益	1,195
受 入 為 替 手 数 料	1,155
その他の受入手数料	39
その他の役務取引等収益	-
そ の 他 業 務 収 益	3
国債等債券売却益	-
国債等債券償還益	-
その他の業務収益	3
その他の経常収益	348
償 却 債 権 取 立 益	348
その他の経常収益	-
経 常 費 用	289,261
業 務 費 用	288,869
資 金 調 達 費 用	75,066
預 金 利 息	75,066
給付補填備金繰入額	199
譲 渡 性 預 金 利 息	-
借 用 金 利 息	-
その他の支払利息	-
役 務 取 引 等 費 用	24,696
支 払 為 替 手 数 料	3,569
その他の支払手数料	3,276
その他の役務取引等費用	17,850
そ の 他 業 務 費 用	-
国債等債券売却損	-
国債等債券償還損	-
国債等債券償却	-
その他の業務費用	-
一般貸倒引当金繰入額	965
経 費	188,140
人 件 費	75,165
物 件 費	112,434
税 金	541
そ の 他 経 常 費 用	391
貸 出 金 償 却	-
個別貸倒引当金繰入額	▲ 249
金銭の信託運用損	-
その他資産償却	-
その他の経常費用	641
経 常 利 益	113,834

科 目	金 額
特 別 利 益	-
固 定 資 産 処 分 益	-
そ の 他 の 特 別 利 益	-
特 別 損 失	-
固 定 資 産 処 分 損	-
そ の 他 の 特 別 損 失	-
税 引 前 当 期 純 利 益	113,834
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	28,159
法 人 税 等 調 整 額	3,201
当 期 純 利 益	82,474
前 期 繰 越 金	211,441
当 期 未 処 分 剰 余 金	293,915

Ⅲ 主要な経営指標の推移

(単位：千円、口)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年9月末
経 常 収 益	1,088,129	1,045,467	966,728	893,820	403,096
経 常 利 益	293,775	352,955	349,247	294,909	113,834
当 期 純 利 益	192,393	234,974	244,995	209,168	82,474
預 金 積 金 残 高	70,794,384	72,226,802	74,403,069	75,240,644	76,952,978
貸 出 金 残 高	16,814,989	17,313,114	17,941,736	18,146,758	18,449,701
有 価 証 券 残 高	37,198,979	38,045,993	40,158,611	40,000,935	39,006,349
総 資 産 額	77,626,331	79,253,134	81,711,486	82,609,957	84,303,814
純 資 産 額	6,150,378	6,385,244	6,718,764	6,854,281	6,833,023
単体自己資本比率 (注1)	18.76%	18.56%	18.05%	18.19%	18.59%
出 資 総 額	61,319	63,170	67,019	69,339	70,936
出 資 総 口 数	306,595	315,854	335,095	346,696	354,681
出資に対する配当金	4,855	5,002	5,213	5,479	-
職 員 数	18人	18人	16人	16人	17人

(注1) 単体自己資本比率は、平成18年度から平成24年度までは金融庁告示第22号に基づいております。
平成25年度からは、改正後の告示にも基づいております。

Ⅳ 資金の運用勘定・調達勘定の状況

(単位：千円、%)

科 目	年 度	平 均 残 高	利 息	利 回 り	
資 金 運 用 勘 定	平成25年9月末	82,241,187	449,675	1.11	
	平成26年9月末	83,079,867	397,505	0.97	
	う ち 貸 出 金	平成25年9月末	17,847,458	139,836	1.56
		平成26年9月末	18,329,477	134,421	1.46
	う ち 預 け 金	平成25年9月末	23,717,221	56,304	0.50
		平成26年9月末	26,563,290	52,663	0.41
う ち 有 価 証 券	平成25年9月末	40,676,507	253,534	1.24	
	平成26年9月末	38,187,099	210,419	1.10	
資 金 調 達 勘 定	平成25年9月末	76,309,499	83,993	0.22	
	平成26年9月末	76,908,269	75,066	0.19	
	う ち 預 金 積 金	平成25年9月末	76,309,499	83,993	0.22
		平成26年9月末	76,908,269	75,066	0.19
	う ち 譲 渡 性 預 金	平成25年9月末	-	-	-
		平成26年9月末	-	-	-
う ち 借 用 金	平成25年9月末	-	-	-	
	平成26年9月末	-	-	-	

(注) 1 資金調達勘定に金銭信託等運用見合額の残高はありません。
2 うち貸出金は、金融機関貸付金を含めて表示しております。

V 保有有価証券の状況

(単位：百万円)

	平成 25 年 9 月 末					平成 26 年 9 月 末				
	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額金	評価益	評価損	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額金	評価益	評価損
国債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地方債	3,854	3,991	136	136	-	3,610	3,717	107	107	-
社債	35,973	36,525	554	554	2	33,790	34,381	591	595	4
株式	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-
その他の証券	600	606	6	6	-	900	906	6	6	-
合計	40,429	41,124	694	697	2	38,310	39,006	705	709	4

※株式以外は時価評価をしております。

※株式は、時価のない非上場株式を61万円保有しています。発行体はえちぜん鉄道(株)、しんくみ総合サービス(株)、しんくみ情報サービス(株)の3先です。

※満期保有目的や売買目的の有価証券は保有しておりません。

VI 自己資本の充実の状況

(単位：千円)

項 目	平成25年9月末
(自 己 資 本)	
出 資 金	68,929
非累積的永久優先出資	-
優先出資申込証拠金	-
資本準備金	-
その他資本剰余金	-
利益準備金	60,000
特別積立金	5,800,000
次期繰越金	319,734
そ の 他	-
自己優先出資(△)	-
自己優先出資申込証拠金	-
その他有価証券の評価差損(△)	-
営業権相当額(△)	-
のれん相当額(△)	-
企業結合により計上される無形固定資産相当額(△)	-
証券化取引により増加した自己資本に相当する額(△)	-
内部格付手法採用組合において、期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額(△)	-
[基 本 的 項 目] 計 (A)	6,248,668
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	-
一般貸倒引当金	59,769
内部格付手法採用組合において、適格引当金が期待損失額を上回る額	-
負債性資本調達手段等	-
告示第14条第1項第3号に掲げるもの	-
告示第14条第1項第4号及び第5号に掲げるもの	-
補完的項目不算入額(△)	-
[補 完 的 項 目] 計 (B)	59,769
自己資本総額(A)+(B)(C)	6,308,434
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	-
告示第14条第1項第3号に掲げるもの及びこれに準ずるもの	-
告示第14条第1項第4号及び第5号に掲げるもの及びこれに準ずるもの	-
非同時決済取引に係る控除額及び信用リスク削減手法として用いている保証又はクレジット・デリバティブの免責額に係る控除額	-
内部格付手法採用組合において、期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	-
PD/LGD方式の適用対象となる株式等エクスポージャーの期待損失額	-
基本的項目からの控除分を除く、自己資本控除とされる証券化エクスポージャー及び信用補完機能を持つI/Oストリップス(告示第223条を準用する場合を含む。)	-
控除項目不算入額(△)	-
(控 除 項 目) 計 (D)	-
自己資本額(C)-(D)(E)	6,308,434
(リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等)	
資産(オン・バランス)項目	33,211,150
オフ・バランス取引等項目	-
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	1,497,618
旧所要自己資本の額に告示に定める率を乗じて得た額が新所要自己資本の額を上回る額に25.0を乗じて得た額	-
リスク・アセット等計(F)	34,708,769
T i e r 1 比 率 (A/F)	18.00%
自 己 資 本 比 率 (E/F)	18.18%

(注) 1 協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準に係る算式に基づき算出しております。
 2 本開示は、平成18年金融庁告示第22号に基づいて算出しております。
 3 「その他有価証券の評価差損(△)」欄は、平成26年3月30日までの間は、平成24年金融庁告示第56号に基づく特例に従い当該金額を記載しておりません。なお、特例を考慮しない場合の金額は一百万円です。

項 目	平成26年9月末	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	6,404,851	
うち、出資金及び資本剰余金の額	70,936	
うち、利益剰余金の額	6,333,915	
うち、外部流出予定額(△)	-	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	61,725	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	61,725	
うち、適格引当金コア資本算入額	-	
適格引当金調達手段のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	6,466,576	
コア資本に係る調整項目(2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	-	33,170
うち、のれんに係るものの額	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	-	33,170
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
前払年金費用の額	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
信用協同組合連合会の対象普通出資等の額	-	-
特定項目に係る10%基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関するもの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するもの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するもの額	-	-
特定項目に係る15%基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関するもの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するもの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するもの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	-	
自 己 資 本		
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	6,466,576	
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	33,309,312	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	▲3,284,029	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	33,170	
うち、繰延税金資産	-	
うち、前払年金費用	-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	▲3,317,200	
うち、上記以外に該当するものの額	-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	1,472,814	
信用リスク・アセット調整額	-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	34,782,126	
自 己 資 本 比 率		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	18.59%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成24年度においては旧告示に基づく開示、平成25年度からは新告示に基づく開示を行っております。

Ⅶ 組合員および諸比率

組合員・出資金の状況

(単位：人、千円)

区 分	平成26年9月末	
	組合員数	出資金
個人	9,646	70,886
法人	9	50
合計	9,655	70,936

総資金利鞘等

(単位：%)

区 分	平成25年9月末	平成26年9月末
資金運用利回 (a)	1.11	0.97
資金調達原価率 (b)	0.70	0.68
総資金利鞘 (a-b)	0.41	0.29

総資産利益率

(単位：%)

区 分	平成25年9月末	平成26年9月末
総資産経常利益率	0.19	0.13
総資産当期純利益率	0.13	0.09

(注) 総資産経常(当期純)利益率 = $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産(債務保証見返を除く)平均残高}} \times 100$

業務純益

(単位：千円)

区 分	平成26年9月末
業務純益	114,843
コア業務純益	114,843

預貸率および預証率

(単位：%)

区 分	平成25年9月末	平成26年9月末	
預 貸 率	(期末)	23.35	23.97
	(期中平均)	23.38	23.83
預 証 率	(期末)	53.84	50.68
	(期中平均)	53.30	49.65

Ⅷ 金融再生法開示債権の開示

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区 分	年 度	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当 金引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成25年9月期	12	6	6	12	100.00	100.00
	平成26年9月期	24	4	20	24	100.00	100.00
危 険 債 権	平成25年9月期	-	-	-	-	-	-
	平成26年9月期	-	-	-	-	-	-
要 管 理 債 権	平成25年9月期	-	-	-	-	-	-
	平成26年9月期	-	-	-	-	-	-
不 良 債 権 計	平成25年9月期	12	6	6	12	100.00	100.00
	平成26年9月期	24	4	20	24	100.00	100.00
正 常 債 権	平成25年9月期	17,844					
	平成26年9月期	18,443					
合 計	平成25年9月期	17,856					
	平成26年9月期	18,467					

(注) 平成26年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成26年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

- 1 債務者区分については原則として平成26年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに客観的な事実による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 2 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債権の合計です。
- 3 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 4 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち、貸出条件を緩和している債権及び3ヶ月以上延滞している債権の合計です。
- 5 「正常債権」の金額は、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権の合計です。

Ⅸ 「ふくせん」のガバナンス

ガバナンスの強化

1 半期開示の実施

【当組合の対応】

ディスクロージャー誌およびホームページにより、当組合の経営方針や業況について開示しております。

2 外部監査の実施対象の拡大等

【当組合の対応】

当組合では、法律上外部監査は義務付けられておりませんが、組合経営の透明性の向上および組合経営の適正化を図るため、平成13年度より監査法人による外部監査を導入しております。また、2年に1度、全信組連監査機構の監査も受け、ガバナンスの強化を図っております。

3 総代の選考基準や選考手続きの透明化、組合員の意見を反映させる仕組み等の整備

【当組合の対応】

職域信用組合である当組合では、各職場より選出された総代および各部局を単位とした選挙区より選出された理事・監事により組織されておりますので、これらの職に特定の利害関係者が長期に就任することはありません。

また、商品やサービスなどに関する意見・苦情等は、サービスの向上及び事故防止に役立つ情報として役職員全員が積極的にその収集に努め、またホームページにご意見箱を開設し、組合員の意見を広く集めております。

【現在の総代および総代会】

・総代の選出方法および任期

当組合の総代は、定款第30条に基づき総代選挙規程の定めるところにより、各選挙区毎に選出いたしております。総代の任期は3年となっております。現在の総代は、総代選挙の結果、平成24年8月24日付で282名が決定しており、任期は平成27年8月までとなっております。

なお、総代の皆様の名簿を店頭に掲示しております。

・総代会

当組合では、定款第29条により、総会に代わるべき総代会を設けております。組合員を代表する総代により、組合の極めて重要な案件について、ご審議・決定していただきます。

【第65期通常総代会のご報告】

平成26年6月26日開催の第65期通常総代会において、次の議案が附議され、それぞれ原案のとおり承認可決されました。

決議事項

- 第1号議案 平成25年度決算関係書類(案)決定の件
- 第2号議案 平成26年度事業計画(案)決定の件
- 第3号議案 平成26年度役員の報酬限度額(案)決定の件
- 第4号議案 平成26年度借入最高限度額(案)決定の件
- 第5号議案 役員改選(案)の件

・総代選挙区表

総代選挙区	選 挙 区 域
総 務	総務部各課、各出先機関、監査委員会、人事委員会、関係団体
総合政策	総合政策部各課、各出先機関、関係団体
安全環境	安全環境部各課、各出先機関、関係団体
健康福祉	健康福祉部各課、各出先機関、関係団体
産業労働	産業労働部各課、各出先機関、労働委員会、関係団体
観光営業	観光営業部各課、各出先機関、関係団体
農林水産	農林水産部各課、各出先機関、関係団体
土 木	土木部各課、各出先機関、関係団体
国体推進	国体推進局各課、各出先機関、関係団体
嶺南振興	嶺南振興局各課、各出先機関、関係団体
会 計	会計局各課、福泉信用組合
県 議 会	県議会事務局各課、関係団体
教 育	教育庁各課、各出先機関、高等学校、小・中学校、関係団体
警 察	警察本部各課（各隊・警察学校）、各警察署、福井通信部、関係団体
退 職 者	退職者

4 中央機関が充実を図る個別金融機関に対する経営モニタリング機能等の活用方針

【当組合の対応】

現在、モニタリング資料は、北陸財務局からは四半期および全信組連からは毎期決算後にその提供を受け、組合経営の検討資料として経営会議の場などで活用しております。

5 反社会的勢力との決別

【当組合の対応】

当組合は、「福泉信用組合行動綱領」に基づき、反社会的勢力の介入に対して断固として立ち向かい排除することとし、これを遵守しております。

・主な連携機関

福井県銀行警察連絡協議会
 (公益財団法人)福井県暴力追放センター
 福井県警察本部
 福井弁護士会
 (一般社団法人)全国信用組合中央協会・顧問弁護士 等

6 苦情相談窓口の設置

- ・当組合では、お客様からのご要望等にお応えするため、当組合店頭およびホームページ上で「苦情相談窓口」を設置しております。

信用組合業務に関してお困りのことや当組合へのご意見、ご要望がございましたら、ご遠慮なくお申し付け下さい。

担当部署 顧客サービスグループマネージャー 細野 香織
 電話番号 (0776) 21-8412
 受付時間 8:30~17:00

X 「ふくせん」の苦情処理措置・紛争解決措置等の概要について

当組合では、お客様により一層のご満足をいただけるよう、お取引に係るご苦情等を受付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

* 苦情等とは、当組合との取引に関する照会・相談・要望・苦情・紛争のいずれかに該当するもの及びこれらに準ずるものをいいます。

当組合へのお申出先

本 店：顧客サービスグループ
住 所：福井市大手3丁目17番1号（福井県庁内）
電話番号：0776-21-8412
受付時間：午前8時30分～午後5時
（土日・祝日および金融機関の休日を除く）
ホームページ：<http://www.fukusen.jp/>

苦情等のお申し出は当信用組合のほか、しんくみ苦情等相談所でも受け付けています（詳しくは、顧客サービスグループへご相談ください）。

名 称	しんくみ相談所 （（一般社団法人）全国信用組合中央協会）
住 所	〒104-0031 東京都中央区京橋1-9-1
電話番号	03-3567-2456
受付時間	月～金（祝日及び金融機関休業日を除く） 9：00～17：00

相談所は、公平・中立な立場でお申し出を伺い、お申し出のお客様の理解を得たうえ、当該の信用組合に対し迅速な解決を要請します。

東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、当組合顧客サービスグループ、またはしんくみ相談所へお申し出ください。

また、お客様が直接、仲裁センター等へ申し出ることも可能です。

名 称	東京弁護士会 紛争解決センター	第一東京弁護士会 仲裁センター	第二東京弁護士会 仲裁センター
住 所	〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-1-3	〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-1-3	〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-1-3
電 話	03-3581-0031	03-3595-8588	03-3581-2249
受付日 時 間	月～金（除 祝日、年末年始） 9：30～12：00・13：00～15：00	月～金（除 祝日、年末年始） 10：00～12：00・13：00～16：00	月～金（除 祝日、年末年始） 9：30～12：00・13：00～17：00

仲裁センター等では、東京以外の地域の方々からの申立について、当事者の希望を聞いたうえで、アクセスに便利な地域で手続きを進める方法もあります。

- ① 移管調停：東京以外の弁護士会の仲裁センター等に事件を移管する。
- ② 現地調停：東京の弁護士会の斡旋人と東京以外の弁護士会の斡旋人が、弁護士会所在地と東京を結ぶテレビ会議システム等により、共同して解決に当たる。

※移管調停、現地調停は全国の弁護士会で実施している訳ではありませんのでご注意ください。具体的内容は仲裁センター等にご照会ください。

発行 平成26年12月

福泉信用組合

店 舗	住 所	電 話
本 店	福井市大手3丁目17番1号 (福井県庁内)	0776(21)1111 内線 4831~4836 直通 0776(21)8412 FAX 0776(21)8439
県立病院 出張所	福井市四ツ井2丁目8-1 (福井県立病院内)	0776(54)5151 内線 1383 直通 0776(53)2278

ホームページアドレス

URL <http://www.fukusen.jp/>

(ご相談や苦情は、上記の連絡先またはホームページの「ご意見箱」をご利用下さい。)